

会 議 録

会議の名称	社会教育委員の会議（平成31年4月定例会）会議録
開催日時	平成31年4月22日（月）午後2時から午後4時まで
開催場所	保谷庁舎別棟B会議室
出席者	委員：攝賀委員、長谷川委員、川原委員、木下委員、沼本委員、 原委員、矢野（真）委員、矢野（尊）委員 事務局：掛谷社会教育課長、江藤課長補佐兼社会教育係長、青木主事
議 題	(1) 社会教育行政のあり方について (2) その他
配付資料	資料1（草稿）今後の社会教育行政の運営体制について（提言） 資料2「3 今後の社会教育行政の運営体制について」の方向性について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

- 平成31年3月の会議録について、承認する。
- 3月31日付けで議長が退任されたため、議長並びに副議長各1名を、互選により選出。

(1) 社会教育行政のあり方について

- 議長：議事(2)「社会教育行政のあり方について」の議事に入る。「はじめに」から「2 今後の施策の方向」まで、前回3月の会議内容を踏まえ4月の起草委員会で内容を確認したものを、起草委員会メンバーがまとめあげてくれた。各自確認をお願いしたい。内容について修正があれば、事務局へ連絡してほしい。
- 議長：次に、「3 社会教育行政の運営体制について」の議事に入る。起草委員会メンバーが各自意見をまとめてきてくれたので、まずは(1)これまで述べてきた課題に対応するための組織体制について、意見を発表してほしい。
- 委員：東京都生涯学習審議会の中間まとめにもあるように「総合学習課」のような学校教育と生涯学習を結び連携して推進できる組織がよい。各種団体実施の事業と社会教育分野が協働できる組織が望ましい。
- 委員：学校教育と社会教育は重複部分も多いので、分けた組織での対応は困難ではないか。社会教育は多くの意義があるので、人員配置拡充も急務だ。
- 委員：地域学校協働活動となっていくと、学校と地域は連携から協働へとより密接になると思われるので、部を分けるとデメリットの方が多いと思う。
- 委員：「放課後子供教室」の推進には、学校教育と社会教育の連携・協力体制の構

築が重要。社会教育業務には、生涯学習の推進・情報収集・環境整備・地域連携等があり、生涯学習のセンター的機能を果たす部署がよいと思う。

- 委員：現在は社会教育課、公民館、図書館が並列組織となっているが、社会教育課に社会教育全体のコーディネート機能を持たせることが必要だと思う。
- 委員：「社会に開かれた教育課程」とは、社会や企業が求める子供の資質や能力を高めるために、教員だけではなく地域も協力していくという学校マネジメントである。
- 委員：「地域」「学校」「協働」を打ち出した組織がよい。
- 委員：社会教育の現在の機能に組織をマッチさせて流動的に変化させていくとよい。社会教育課は図書館や公民館等をコーディネートできる組織の形がよいのではないかと。市長部局との連携もしやすい組織にしてはどうか。
- 委員：生涯学習の事業は、社会教育課以外の各部署でも実施しているので、全体的にコーディネートができる組織にしていくべきだと考える。
- 委員：各部署や様々な団体が実施している社会教育的事業を、きちんと広報し全体のコーディネートをしていく組織が必要。
- 議長：では、次に「(2)これまで述べてきた課題に対応するための職員増員について」意見の発表をお願いしたい。
- 委員：生涯学習のためのセンター機能をシステム化する等の役割を果たしていくためには、多様な知識が必要のため、コーディネーターよりスーパーバイザー的人材を配置した方がよい。
- 委員：全庁的な統括ができる人材で、専門スタッフが配置できることが望ましい。地域や庁内の核となる人材が必要。
- 委員：1人の「人」の配置というだけではなく、センター的な機能と「組織」が必要と考える。
- 委員：地域学校協働活動推進のためには、運営委員会を設置しコーディネーターを配置することが望ましい。さらに、社会教育課には統括機能をもつ統括コーディネーターの配置が必要なのではないかと。
- 委員：生涯学習推進のためには、教育委員会と市長部局間の調整機能がある部署が必要だ。
- 委員：役所の縦割りの事業展開をつなぐ組織が、生涯学習推進の面でも必要である。

- 委員：指針や計画の検討の必要性、社会教育主事の専門性の必要性等の検討から組織の機能について考え提言をまとめていく。
- 委員：市民活動の支援をしているゆめこらぼや社会福祉協議会とも、更に連携しながら、地域・協働・学校活動等を進めて機能強化をしていくとよいのではないか。
- 委員：人材や後継者の育成が生涯学習の部分でも強く求められている。市民の生涯学習を支援する生涯学習支援課のような名前の組織もよいかもしれない。
「ネットワーク化」「情報提供のメール化」「ハブとなる」等の機能をより推進するための組織について盛りこんでいけばよい。
- 議長：以上の本日の議論を踏まえて、起草委員会メンバーで文書をまとめ、協議のうえ、次回の社会教育委員の会議でまとめあげたい。

(2) その他

次回の起草委員会開催について

* 5月17日（金）午後1時30分から

【次回会議】 5月27日（月）午後2時
保谷庁舎3階第2会議室